



みなみっ子

学校教育目標

自立

協働

創造

令和8年10月9日(金)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

74号

『よい子のあゆみ』がつなく、子どもたちの確かな成長

日頃より、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、本日、お子さんを通じて前期のまとめとなる『よい子のあゆみ(通知表)』をお渡しいたしました。表紙を開くと、そこには子どもたちがこれまで重ねてきた学習や生活の努力、そして確かな成長の軌跡が詰まっています。

1 『あゆみ』が意味するもの

小学校における評価は、誰かと比べて順位をつける「相対評価」ではありません。学習指導要領で設定された目標に対し、「どこまで到達できたか」「どのような努力をしたか」を個別に捉える「絶対評価」です。わかりやすく言えば、「過去の自分と比べて、どれだけ成長したか」を見つめるためのものです。各教科の観点(知識・技能／思考・判断・表現／主体的に学習に取り組む態度)や所見欄には、担任が日頃の授業や生活の中で見出した、一人一人の「強み」や「がんばり」が込められています。

2 ご家庭でご覧いただく際のお願い

『あゆみ』をご覧になる際は、ぜひ次の点を意識して、お子さん声をかけてあげてください。

①「点数や記号」よりも「努力のプロセス」を褒める

よい結果はもちろんですが、「毎日コツコツ宿題に取り組んだ」「苦手な運動に何度も挑戦した」といった過程に目を向け、「がんばっていたね」と努力そのものを認めてあげてください。

②人と比べず、「過去のお子さん」と比べる

兄弟姉妹やお友達と比べるのではなく、「〇年前と比べてこんなことができるようになったね」「〇学期のときよりここが伸びたね」と、本人の歩みを一緒に喜んであげてください。

③次の目標へ向けた「前向きな言葉かけ」を

もし課題が見つかった場合でも、「ここはもう少し伸ばせるチャンスだね」「次の学期で一緒にがんばろう」と、次への意欲を引き出すきっかけにしていただければ幸いです。

子どもは、大好きな保護者の皆様から認められ、褒められることで、「次もがんばろう」という自己肯定感と意欲を育みます。『よい子のあゆみ』は、学校とご家庭が手を取り合い、お子さんの健やかな成長をともに支えていくための「架け橋」です。ご不明な点やご相談がございましたら、遠慮なく学校・担任までお寄せください。

『あゆみ』がつなく子どもの成長：家庭での向き合い方ガイド

①『あゆみ』が持つ本来の意味



②子どもの「強み」と「がんばり」が詰まった成長の軌跡



子どもの意欲を引き出す「声かけ」の3ステップ



① 点数や記号より「努力のプロセス」を褒める



② 人と比べず「過去のお子さん」と比べる



③ 課題が見つかったも「前向きな言葉かけ」をする

